

こんな活動です

創立150年 山階地域の底力

～「であい・ふれあい・ささえあい」すべては地域の子どものために～

京都府京都市	●活動名	●関係する学校名
	山階学校運営協議会 「あいあい山階」	京都市立山階小学校

協働活動開始年度	平成 17 年度	学校運営協議会	指定・設置日	平成17年9月2日指定	地域学校協働本部	有
活動区分	学校支援活動	—	—	—	—	—
	—	—	放課後子供教室	—	—	—
統括的な地域学校協働活動推進員等の数	配置人数		地域学校協働活動推進員等の数		配置人数	
	—		—		8人	
ボランティアの数	延べ登録人数	企業・NPO等との連携	無	ICT機器活用	無	無
	86人	—	—	—	—	—
参考URL	http://cms.edu.city.kyoto.jp/weblog/index.php?id=109109					—



●連絡先	京都市教育委員会 生涯学習部	☎ 075-251-0456
------	----------------	----------------

●活動の概要・経緯
平成13年度生活科全国大会・平成14年度学習指導要領の改訂に向け、生活科や総合的な学習の時間の研究に取り組むため、地域の協力を得て「地域に学び」「地域を愛する」子どもを育てる教育を推進。平成14年度には創立130周年を迎え地域・保護者・学校の絆が深まり、クラブ活動等にも地域の方が参画。平成15年・16年には、「お話の会すずかけ」「みまもり隊」「なかよし菜園」も活動を開始するなか、平成17年に、児童の実態と学校教育目標を明確にし、学校評価を進めながら地域・保護者・学校が共通認識を持ち一体となって活動できるよう、「であい」「ふれあい」「ささえあい」を合言葉として、山階学校運営協議会「あいあい山階」が設立された。理事会を柱として、4委員会(学びを拓く委員会・心を育む委員会・体を鍛える委員会・やすらぎを守る委員会)と8部会(学習支援・幼小中連携・読書活動・栽培活動・文化活動・スポーツ活動・健康活動・防犯防災美化)で構成。

●活動の特徴・工夫

【地域学校協働活動としての特徴的な取組】

学びを拓く委員会では、生活科の学習で「地域の先輩」として子どもたちに季節ごとの活動や昔あそびを教えたり、インタビューに答えたりしている。心を育む委員会では、「お話の会すずかけ」が朝の読み聞かせや図書貸し出し・整備を実施。また、「なかよし菜園」で季節ごとに野菜について教わり各学年の畑で育て収穫し、一部の野菜は夏まつりや冬のおもちつき会で児童が販売したり、将棋・音楽・理科・自然観察・子ども劇団・伝統の6つのクラブ活動で地域と一緒に活動したりしている。体を鍛える委員会では、放課後部活動である卓球とサッカーを地域指導者が中心となって実施。やすらぎを守る委員会では、「みまもり隊」が毎日10名程度登下校時に道に立ち子どもたちに声掛け。子どもの様子や安全に関する情報も学校へ提供。

【実施に当たっての工夫】

- ・年3回、理事会を開催し、教育活動や子どもたちの様子、あいあい山階の活動状況等について話し合い、改善を検討。
- ・年2回、あいあい山階の総会を行い、理事・委員をはじめ、各回に保護者の約半数が参加。全体会で取組や課題等について認識を共有し、その後8部会に分かれ、理事を中心に地域の方・保護者・教職員が一緒になり、あいあい山階の活動について話し合う。

【関係機関・団体等との連携状況】

理事会のメンバー構成が、地域に顔が広い、山階校区の諸団体(自治連合会・自主防災会・少年補導委員会等)の代表者やおやじの会会長、放課後まなび実行委員長など非常に多様。さらに、現役世代の保護者と太いパイプを持つ、過去にPTA会長をしておられたOB・OG・現役保護者が加わり、学校の取組に地域や保護者の協力を得るための土台が整っている。

●地域学校協働活動を実施しての効果・成果

本校の児童の学校生活には、地域の方々が広く深く関わってくださっている。子どもたちは、入学したその日から登下校や学校での様々な活動で地域の大人に見守られ、支えられる経験を通して、自分が地域の一員として愛され、大切にされていることを実感している。また、地域の方々や保護者も、学校の取組や子どもたちとの活動に主体的に参画していくことで、学校運営や子どもたちの成長に直接携わることができる喜びを感じてくださっているようである。学校運営協議会が発足して16年目。地域と保護者を巻き込んだ多様な取組が充実期を迎え、学校目標にある「ふるさと山階 なかまと共に」の具現化と、「地域に学び 地域を愛する」子どもたちの育成が成果として順調に表れていると感じている。

●その他

学校に関わってくださる方々を日頃から意識できるよう、玄関付近に写真を掲示している。また、子どもたちからも感謝の気持ちを伝えるため、3年生の総合的な学習の時間「山階のすてき」等を活用して、お世話になっている方々に感謝状やメダル等を作成し渡す取組をしている。



輩「【親
「最も
「のま
「の写
「真目
「と立
「名前つ
「前やも
「の関
「の掲
「の地
「の域
「の示
「の板
「先



ダ「【感
「3謝
「山をを
「階年伝
「を生
「作の
「成す
「してを
「き合
「レ的
「ゼな
「ン学
「ト習
「の
「時
「間